



選べる調べるガイダンス ～ まずはレベルチェックから～

平成19年度学術情報リテラシー教育担当者研修
第6班



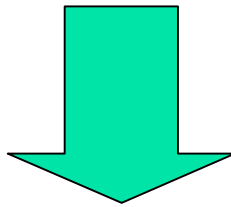
企画の背景

- 一部の教員からの依頼のみでの実施
- 内容は図書館への丸投げ
(学生の実態が分からないまま)
- 2～4年生に対して継続的な利用教育が出来ていない



企画の提案

- チェックシートの活用
- 問診票の活用
- 2～4年生向けのメニューの提案



すべての教官から学生のレベルにあった
ガイダンスを申し込んでもらおう！



チェックシートとは

学生の情報活用能力に応じて
レベルをチェックするもの

方法1

学生に配布(カウンター、HPなど)し、挑戦してもらう

方法2

教官がクラス・ゼミの学生に配って、挑戦してもらう



チェックシートの活用

学生には

- レベルに合ったガイダンスの奨励

教員には

- 学生のレベルについて共通認識を持つ
- 図書館と協力してガイダンスを実施
- データをガイダンスの広報に活用



問診票とは

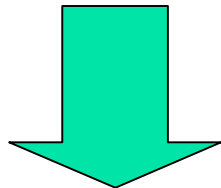
ガイダンスの依頼をするときに提出するもの

- 申込書を兼ねる
- 文献検索のキーワード
- ガイダンスのメニューやコース
- 紹介して欲しいデータベース、資料
- 対象者に合わせるオプション

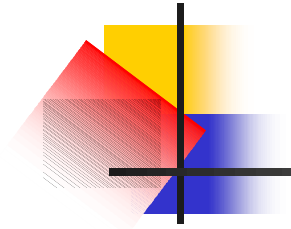


企画の効果

学生は、4年間を通してレベルに合った
ガイダンスが受けられる



- 学生の情報活用能力が向上する
- レベルの高いレポート・論文が書ける



私たちは
攻めの図書館員をめざします！

ご清聴ありがとうございました